

過労死防止学会 第10回大会 プログラム

□日程：2024年8月31日(土)、9月1日(日)

□会場：大阪経済大学 大隅キャンパス 大阪市東淀川区大隅2-2-8

阪急「上新庄」駅から徒歩約15分・地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅から徒歩約2分

□ 8月31日(土)

◇10:00~12:00 分科会

第1分科会:[自由論題]

司会:井上千一

会場 C51教室

医師の働き方改革とポスト地域医療構想

田中與念子 社会福祉士、基礎経済科学研究所所員

医師の働き方改革開始後の現状について

土谷良樹 東京勤労者医療会 東葛病院 内科部長

第2分科会:[自由論題]

司会:田中明彦

会場 C52教室

社会保険労務士が過労死防止運動にとりくむために 一過労死防止法制定後、10年連続で講演会を開催

喜多裕明 社会保険労務士、大阪府社会保険労務士会安全・衛生自主研究会代表幹事

家事労働者過労死問題と取り組みの意義

佐藤 学 総合サポートユニオン

第3分科会: 航空産業における労働実態と疲労リスク

司会:生井良江

会場 C54教室

ANA-Tさんの労災棄却の問題点と日本の客室乗務員の現状、及び、組合員の増加の教訓

酒井三枝子 NPO 法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事長

『コロナ禍』以降における、航空労働者の労働実態変化と課題

奥平 隆 NPO 法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」副理事長

客室乗務員の保安任務遂行に求められる疲労リスク管理

生井良江 NPO 法人「航空の安全・いのちと人権を守る会」理事

◇ 13:00~17:00 特別企画 過労死防止学会活動のこれまでとこれから <オンライン配信>

座長:長井偉訓 討論者:粥川裕平 黒田兼一

会場 C31教室

記念講演:“過労死研究のこれまでとこれから”(仮題) 川人 博

パネルディスカッション

産業医学・公衆衛生学からの過労死研究のこれまでとこれから

天笠 崇

啓発授業10年間の取組みとこれから 一神奈川県を取組を通して一

工藤祥子

“過労死家族の会”と学会活動との関わりについて(仮題)

寺西笑子

日本を「反面教師」に過労死予防を目指す韓国の動向

脇田 滋

『過労死防止学会誌』これまで と これから

高田好章

◇ 17:15~18:15 会員総会 会場 C31教室 <オンライン配信>

◇ 18:30~20:30 懇親会 会場 D号館(80周年記念館)8階

・大会事務局 : C5A教室

※今大会では、特別企画・共通論題・総会のみオンライン配信し、分科会のオンライン配信はありません。

※大会プログラムの最新版:以下のホームページをご覧ください

「過労死防止学会第10回大会プログラム」 <https://www.jskr.net/2826/>

敬称略 [2024-07-12 版]

□ 9月1日(日)

◇ 10:00～12:00 分科会

第4分科会： [自由論題]

司会: 玉木一成

会場 C51教室

過労死防止と労働人権法

寺内宏伸 労働法論文翻訳者、元労働基準監督官
平均的労働者論の誤謬

粥川裕平 かゆかわクリニック・名古屋工業大学名誉教授

第5分科会： 建設業の労働・労災問題

司会: 松浦洋一郎

会場 C54教室

建設労働問題概要 (問題提起)

市村昌利 特定非営利法人建設政策研究所専務理事・駒澤大学講師
建設業のアスベスト問題

澤田鉄平 桃山学院大学経済学部准教授
一人親方の長時間就業と「働き方改革」

柴田徹平 岩手県立大学社会福祉学部講師

第6分科会： 「遺族による啓発事業」を通じたアウトリーチと権利行使支援について

司会: 櫻井善行

会場 C52教室

啓発事業の制度概要・運営の実情 (オンライン報告)

嶺山渉 厚生労働省労働基準局総務課 過労死等防止対策推進室 過労死等防止係長
啓発事業の実態についての分析

今野晴貴 NPO 法人 POSSE 代表理事

啓発事業の実践経験の報告

安徳晴美 福岡過労死を考える家族の会代表

第7分科会： 芸術・芸能分野の過重労働やハラスメントの実態と課題解決の方向性

司会: 森崎めぐみ

会場 C53教室

フリーランス芸能従事者の就業実態と人権

森崎めぐみ 俳優、一般社団法人日本芸能従事者協会 代表理事
芸能従事者の過重労働とハラスメントの実態

匿名 (被害の当事者)

芸能制作現場の課題解決のためのインティマシーコーディネーター

浅田智穂 インティマシーコーディネーター、株式会社 Bianket 代表取締役
・総合討論登壇者 村上陽子 日本労働組合連合総連合会 副事務局長
黒田兼一 明治大学名誉教授

◇ 13:00～16:50 共通論題

< オンライン配信 >

座長: 清山 玲 討論者: 川村雅則 渡部あさみ

会場 C31教室

物流の「2024年問題」と働き方改革の課題～過労死等防止の視点から

トラックドライバーの不規則勤務の健康影響と対策の方向性

松元俊 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 主任研究員
長距離トラックドライバーの過労死事案の教訓 ～2024年問題で過労死はなくせるか～
岩城穰・弁護士 井上将宏・弁護士 中西翔太郎・弁護士

“物流の2024年問題”をどう捉えるか? (仮題)

矢野裕児 流通経済大学 流通情報学部 教授

トラック運転者の「過労死」防止に向けて —「物流の2024年問題」によせて

芦崎光夫 全日本建設交運一般労働組合関西支部 特別執行委員

※今大会では、特別企画・共通論題・総会のみオンライン配信し、分科会のオンライン配信はありません。

※大会プログラムの最新版：以下のホームページをご覧ください

「過労死防止学会第10回大会プログラム」 <https://www.jskr.net/2826/>